

トピックス

タイ開発拠点を拡充

バンコク（タイ）において、平成19年より二輪電装製品の開発業務を行っていた、ミツバ・アジア R&D Co., Ltd.が、この度、新社屋に移転しました。今後は、ASEAN地域の四輪車市場の拡大に対応し、四輪電装製品も含めた、開発業務を開始します。

当社は、日本に研究開発のセンター機能を置き、アメリカ、ドイツ、インド、中国など世界各国で、それぞれの地域ニーズを踏まえた、現地最適製品の開発を推進しております。



▲ミツバ・アジア R&D Co., Ltd.新社屋

亜熱帯地域向け フロントワイパーシステムを上市

当社はこの度、亜熱帯地域向けフロントワイパーシステムを上市しました。四輪車市場の拡大が見込まれる熱帯・亜熱帯地域の使用環境を調査し、今回現地の条件に適合した製品を開発しました。

本製品は、亜熱帯地域の気候や道路事情を考慮し、雪害や高速走行要件を緩和することによって、小型軽量化を実現しました。また、現地サプライヤーと材料の活用により、コスト競争力も向上しました。

平成26年7月よりインドネシア生産車に、12月よりインド生産車に搭載予定です。



▲亜熱帯地域向けフロントワイパーシステム

株式の状況・会社の概要

(平成26年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式の総数 45,581,809株
株主数 3,594名

会社の概要

商号 株式会社ミツバ
(MITSUBA Corporation)
設立年月日 昭和21年3月8日
資本金 98億85百万円
事業内容 自動車用電装品の製造・販売

役員

代表取締役会長 野瀬 裕一
代表取締役社長 日長 昇
代表取締役 高橋 一男
取締役 阿部 登和
取締役 高橋 良賢
取締役 三田 久夫
取締役 阿久戸 光宏 (注1)
取締役 原 井林 (注2)
常務取締役 平 井 隆幸
常務取締役 小塚 隆晃 (注2)
監査役 藤原 紀
監査役 藤原 紀
(注1) 社外取締役 (注2) 社外監査役

大株主（上位10名）

順位	株主名	持株数	持株比率
		千株	%
1	(株)横浜銀行	2,199	4.91
2	日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	2,026	4.52
3	日産自動車(株)退職給付信託口座信託受託者みずほ信託銀行(株)再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	1,742	3.89
4	ミツバ取引先企業持株会	1,701	3.80
5	日立オートモティブシステムズ(株)	1,689	3.77
6	本田技研工業(株)	1,662	3.71
7	(株)サンフィールド・インダストリー	1,550	3.46
8	日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,538	3.43
9	セコム損害保険(株)	1,343	3.00
10	第一生命保険(株)	1,296	2.89

(注) 持株比率は自己株式821,801株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日、9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.mitsuba.co.jp/ir/koukoku.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

MITSUBA

〒376-8555 群馬県桐生市広沢町1-2681
TEL 0277-52-0111 (代表)
URL <http://www.mitsuba.co.jp>



株主の皆様へ

証券コード：7280

心 ひろがる技術

MITSUBA

株式会社 ミツバ



第70期中間報告書

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社第70期の中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にごあいさつを申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府による金融政策や経済政策等により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、円安による原材料等の価格上昇もあり、当社を取巻く環境は厳しい状況にありました。世界経済は、米国の雇用環境や個人消費の改善、住宅価格の上昇等により景気の回復基調が継続しました。しかし、欧州経済は政府債務問題や政情不安もあり低水準の成長に留まりました。また、新興国におきましても成長が鈍化し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は1,493億33百万円（前年同期比13.2%増）となりました。連結営業利益は95億78百万円（前年同期比8.8%増）、連結経常利益は113億67百万円（前年同期比11.7%増）、法人税等と少数株主利益を控除し、四半期純利益は49億65百万円（前年同期は75億10百万円の四半期純損失）となりました。

第70期よりスタートさせた輸送用機器関連事業の新しい3ヵ年計画である第10次中期経営計画では、当社のグループネットワークを強みに拠点間の連携を高め、グローバルでさらなる成長を図ってまいります。

自動車における技術革新のスピードが一段と速まるなかで、当社が成長していくためには、車の進化を捉えた製品を開発し、グローバルでお客様のニーズに応えることが不可欠であります。当社は自動車のモジュール化・システム化に対応するための商品開発力を強化し、先進国市場においては、自動車の安全や環境性能向上への対応、新興国市場においては、現地最適の商品開発と生産技術力の向上に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



取締役社長
長瀬 裕一

連結財務諸表（要旨）

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	149,395
固定資産	111,500
有形固定資産	68,271
無形固定資産	5,814
投資その他の資産	37,415
資産合計	260,896
負債の部	
流動負債	121,502
固定負債	67,958
負債合計	189,460
純資産の部	
株主資本	58,382
その他の包括利益累計額	1,182
少数株主持分	11,870
純資産合計	71,435
負債・純資産合計	260,896

四半期連結損益計算書

単位：百万円

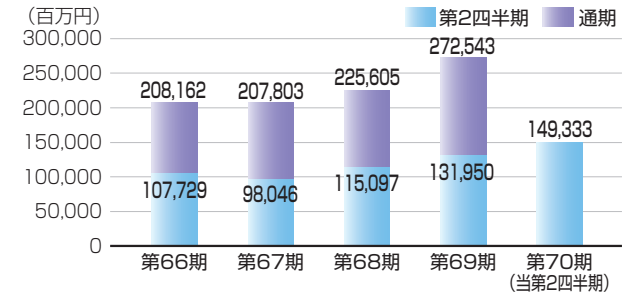
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)
売上高	149,333
売上原価	125,908
売上総利益	23,424
販売費及び一般管理費	13,845
営業利益	9,578
営業外収益	2,747
営業外費用	958
経常利益	11,367
特別利益	162
特別損失	2,679
税金等調整前四半期純利益	8,850
法人税等	2,843
少数株主損益調整前四半期純利益	6,006
少数株主利益	1,040
四半期純利益	4,965

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

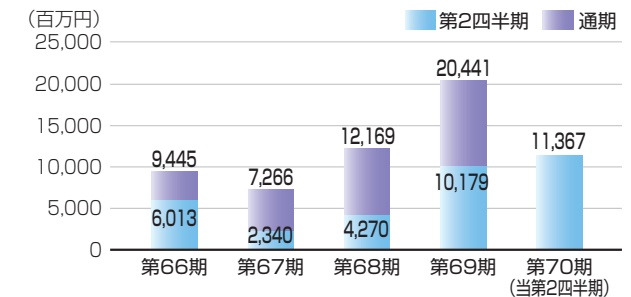
単位：百万円

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 580
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,986
現金及び現金同等物の期首残高	42,158
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	574
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,746

売上高



経常利益



四半期（当期）純利益

